

インターネットアンケート及び農水省ホームページアンケートの概要

1. 調査目的

国民の皆様が加工食品の原材料の産地（又は原産国）について、どのような要望を有しているのか把握するため本調査を実施。

2. 調査方法

- ①インターネットによるWEB調査（平成20年9月上旬～中旬）
- ②ホームページにより募集した調査（平成20年9月下旬～10月下旬）

3. 調査対象者

- ①20歳～69歳の男女の消費者
- ②不特定（農林水産省のホームページにアクセスし、必要事項に回答した者全て）

4. 回答数

- ①平成17年度国勢調査の全国構成比（地域別、男女別、年代別）に合わせて有効回答数2,000名で実施
- ②アンケート回答総数868通

5. 調査内容

調査は、以下の4点について実施。

- (1) 対象者の属性
- (2) 食品の購入実態（①のみ）
- (3) 加工食品の原材料の原産地表示のニーズ
- (4) 加工食品の原材料表示に対する意見

6. 調査結果

WEB調査(以下調査①とする。)及びホームページ調査(以下調査②とする。)の概要は以下のとおり。

なお、調査①は、国勢調査を踏まえて有効回答数を設定した一般消費者に対するアンケートであることに対し、調査②は、農林水産省のホームページを見て参加した表示に関心のある人であること及び調査数が①の半数以下であることから、単純にデータの比較はできるものではない。また、調査②では回答が選択肢に該当しない場合、自由記載としたことから、その意見についても併せて示す。

(1)加工食品の原材料の原産地表示のニーズについて

(ア)原材料が作られた原産地の表示及び表示すべき理由について

「加工食品のパッケージに、原材料の原産地の表示をすべき」とする意見が、調査①では全体の81%を占めた。(8頁)表示をすべきと回答した者の49%がその理由として、「原材料がどこの国で作られたかで安全性がわかる」と、45%が「中国等特定の国で作られた原材料を使った食品は買いたくないから」と回答した。(9頁)(第36回共同会議資料1-2で報告済み)

一方、調査②(17頁)では、全体の70%が表示すべきと回答。その理由としての回答割合は、それぞれ53%、32%であり、傾向としては同じであった。

(イ) 原産地を表示すべき原材料について

調査①(10頁)では、半数を超える人が主な原材料の原産地は表示すべきと回答した。(第36回共同会議資料1-2で報告済み)

一方、調査②(18頁)では、全体の45%が主な原材料の原産地は表示すべきと回答し、この問いについても傾向としては同じであった。

((イ)の設問における自由記載について)

- ・国産の原材料を使用していることを知りたい
 - ・商品選択のための情報として表示してほしい
- 等の意見が挙げられた。

(2) 加工食品の原材料表示に対する意見について

(ア) 値上がりへの反映について

調査①(11頁)では、「全ての原材料の原産地を表示することにより、商品の値上がりはやむを得ない」とする意見への賛否は、反対が37%で賛成の29%を上回ったが、どちらでもないが34%を占め、判断がつきかねる人も多かった。

一方、調査②(20頁)では、反対が46%、賛成が20%であり、調査①より反対が9ポイント上回った。

(イ) パッケージでの表示について

調査①(12頁)では、「ホームページやお客様相談窓口で調べられれば、原産地をパッケージに表示されていなくてよい」とする意見への賛否は、反対が41%、賛成が30%であった。男女とも40代以上の年齢で反対とする割合が高く、パッケージへの表示を望む意見が多かった。

一方、調査②(20頁)では、同20%、25%と低ポイントながら逆転している。

((2)(ア)及び(イ)の設問の自由記載について)

- ・全て表示すると見づらくなる
 - ・結局表示を見ない
 - ・PR表示等を減らして原料原産地表示をすべき
 - ・主な原材料をパッケージに表示し、他の情報はホームページで公開すべき
- 等の意見が挙げられた。

(ウ) 具体的な国名表示について

調査①(13頁)では、「国産」「外国産」と表示することについては反対が49%、賛成が25%で、具体的な国名を表示しないことに対して約半数が反対した。

一方、調査②(20頁)では、それぞれ31%、17%であり、傾向としては同じであるが、調査①の回答よりもポイントが低かった。

(エ)可能性のある国の表示について

調査①(14頁)では、原料原産地として可能性のある国を全て表示することには、賛成が37%、反対が29%、どちらでもないが34%でほぼ拮抗した結果となった。

なお、女性の方が賛成が多く40%であり、特に50代、40代で賛成する人が多かった。

一方、調査②(20頁)では、賛成が13%であった。また、この質問に対する反対意見を聞く選択肢は設けなかったが、賛成以外の割合(「国産／外国産」表示で十分、「外国産」表示では不十分、分かる国だけの表示でよいを合わせた割合)が69%であった。

(オ)分かる国だけの表示について

調査①(15頁)では、原産地が分かる国だけを表示し、どうしても原産地を表示することが無理な場合は、原産地を特定できない旨を表示することについては、賛成36%、反対33%、どちらでもない31%でほぼ拮抗した結果となった。

一方、調査②(20頁)では、賛成が15%であった。具体的に反対意見を聞く選択肢は設けなかったが、国名表示に対し、特定の国がわからないので不十分であり反対と回答した割合は31%であり、(ウ)とほぼ同じ傾向であった。

(カ) 中国産の原材料の表示について

調査①(16頁)では、中国産の原材料だけ表示することに57%が反対、15%が賛成であった。

一方、調査②(20頁)では、明確に中国産を表示することについては意見を聞かなかったが、中国だけを表示することへの疑問を持つ意見が挙げられた。

((ウ)から(カ)の設問の自由記載について)

- ・「国産」「外国産」表示は、原料原産地を知りたい人には無意味
- ・外国産表示でも中国等は別に分かるように表示すべき
- ・トレースできる食品を使用すべき
- ・配合割合を固定できないことから、「又は表示」であれば実行可能である等の意見が挙げられた。

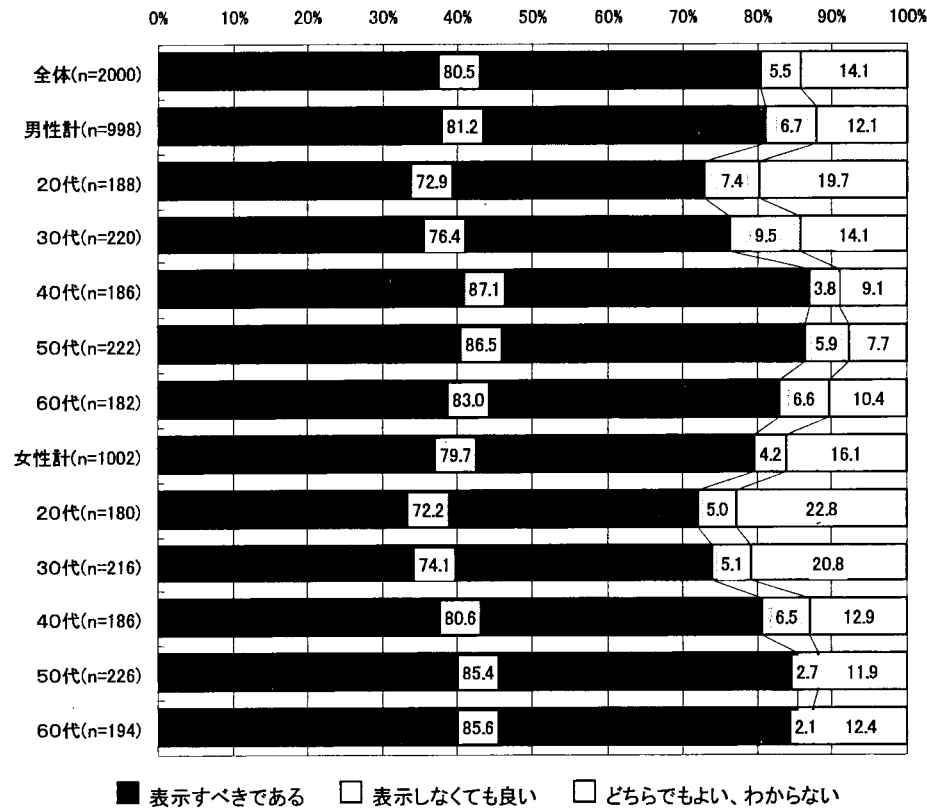
アンケート結果は次頁以降

(1) インターネットによるWEB調査(7頁～15頁)

(2) ホームページにより募集した調査(16頁～20頁)

(1) 原材料が作られた原産地の表示

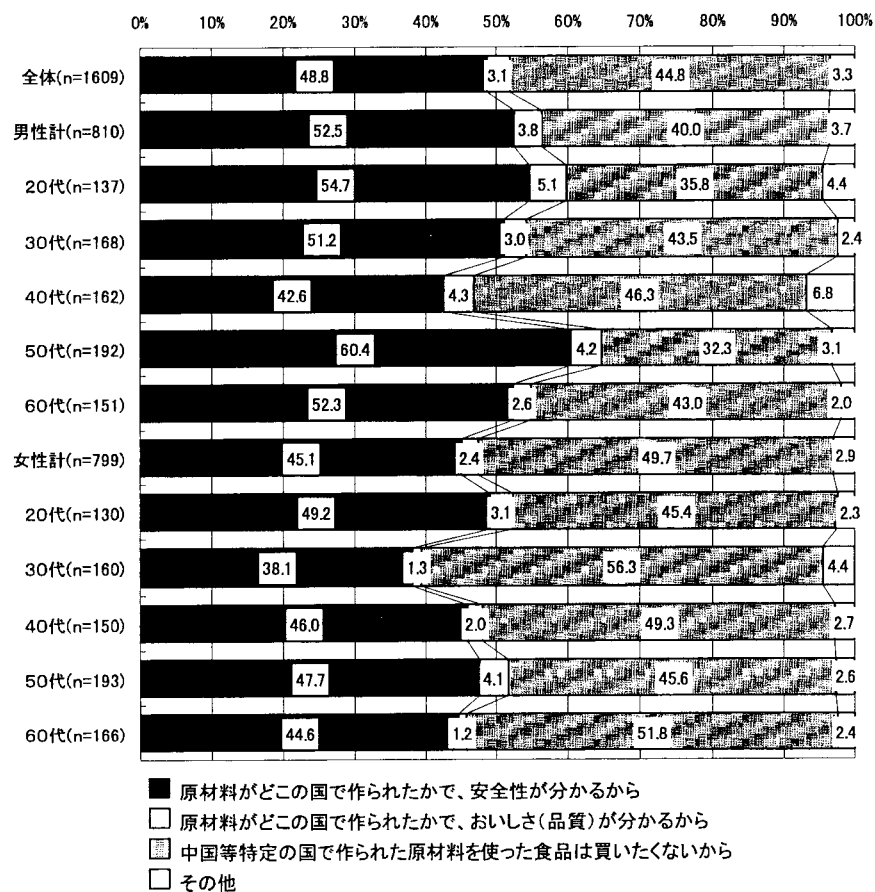
問：あなたは、加工食品のパッケージには、どのような原材料が使われているかだけでなく、原材料がどの国で作られたか、その原産地も表示すべきと考えますか。



- ・パッケージに原材料だけではなく原産地の表示をするべきだとする意見が、全体で81%に達し、ほとんどの人が、「原産地表示」もするべきだと考えている。男女ともほぼ同じ割合になっている。
- ・性・年代別では、男女とも20代、30代で「原産地表示をすべき」とする割合が他の性・年代に比べて低くなっている。
- ・子供の有無では、子供がいる人の方が「原産地表示」を望んでいる

(2)原産地を表示すべき理由

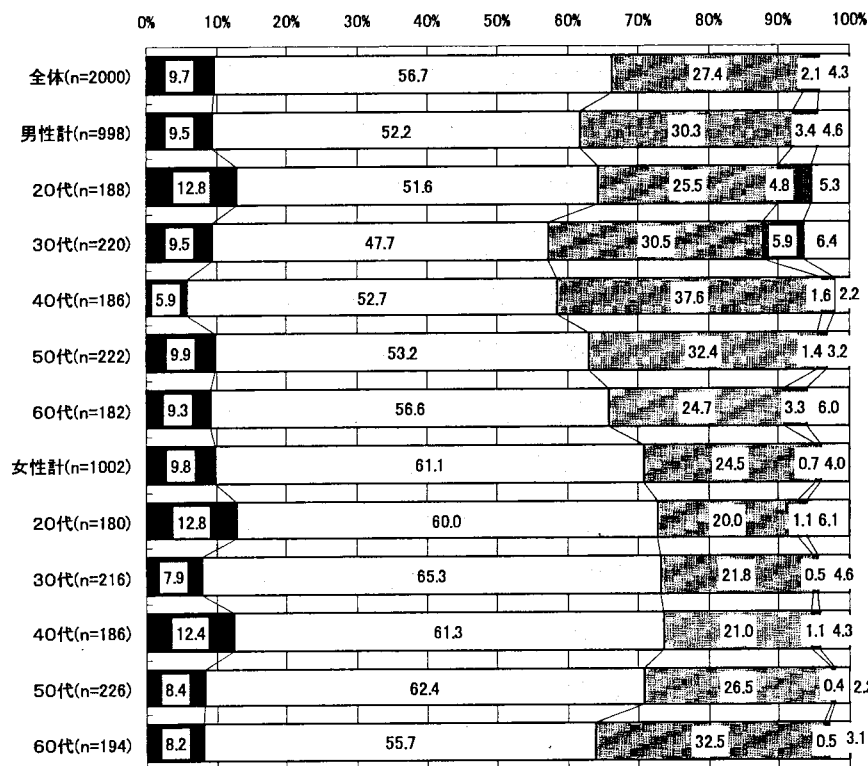
問：「表示すべきである」とお答えの方にお伺いします。なぜ表示すべきと考えますか。



- ・「原産地表示をすべき」とした人の理由は、「原材料がどこの国で作られたかで安全性が分かる」が49%、「中国等特定の国で作られた原材料を使った食品は買いたくないから」が45%でこの2つの理由に2分される。消費者は、安全性を第一に考えて原材料表示を望んでいる。
- ・性・年代別では、女性の方が男性に比べて、「中国等特定の国で作られた原材料を使った食品は買いたくないから」が高く、半数を占める。特に、30代と60代で半数を超える。
- ・子供の有無では大きな差はみられなかった。

(3)原産地を表示すべき原材料

問：以下の加工食品の場合、どの原材料について原産地を表示すべきだと考えますか。



名 称 黒豚のメンチカツ
 原材料名 食肉(豚肉、鶏肉)、たまねぎ、豚脂、つなぎ(パン粉、卵白)、しょうゆ、砂糖、トマトケチャップ、食塩、香辛料、ポークエキス、衣(パン粉、小麦粉、植物油脂)、揚げ油(大豆油)、調味料(アミノ酸等)
 内 容 量 160g
 賞味期限 200X年XX月XX日
 保存方法 -18℃以下で保存してください。
 製造者 株式会社〇〇 東京都千代田区△△

・上記のような表示例を提示して、原産地を表示すべき原材料を聞いたが、半数を超える人が「主な原材料(豚肉、鶏肉、たまねぎなど)の原産地は表示すべき」としており、主原材料の原産地表示を望んでいる。「原材料だけでなく、調味料、衣も含めて原産地を表示すべき」は27%であり、使用されている原材料全ての原産地表示希望は4人に1人となった。
 ・女性よりも男性の方が、原材料すべての原産地表示をすべきとする割合が多い。

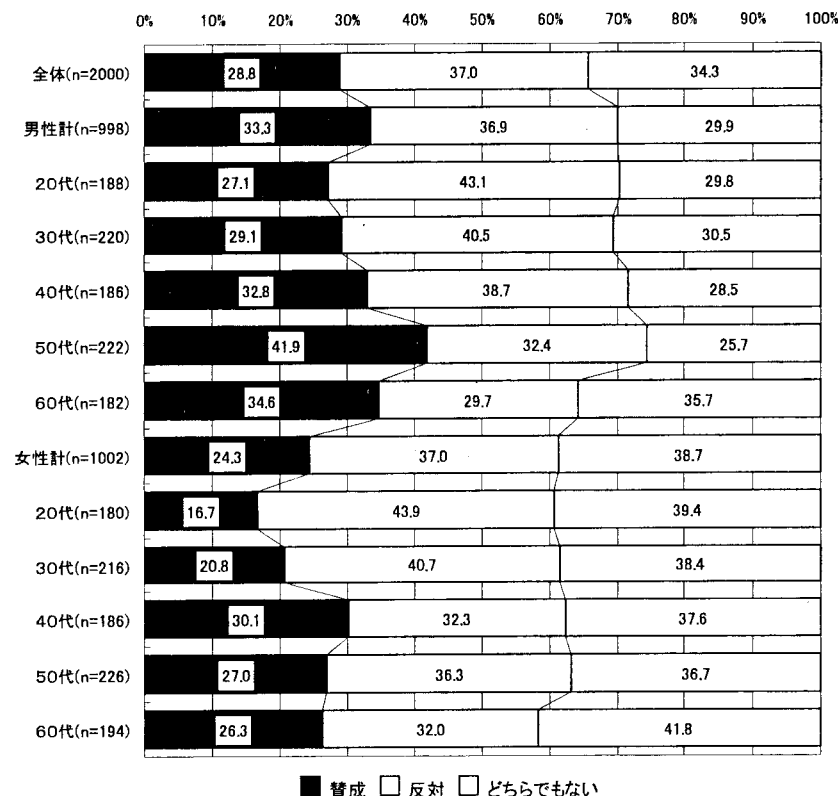
- 「豚肉(黒豚)」の原産地だけ表示すればよい
- 主な原材料(豚肉、鶏肉、たまねぎなど)の原産地は表示すべき
- ▨ 主な原材料だけでなく、調味料、衣も含めて原産地を表示すべき
- どの原材料についても原産地表示はしなくて良い
- 分からない

(4)原産地の表示についての考え方

問：加工食品の原材料がどこの国で作られたものか、商品のパッケージに表示することについて、様々な考え方があります。あなたは以下の考え方に賛成ですか、反対ですか。

①値上がりへの反映

問：全ての原材料がどの国で作られたものか表示すべきである。そのために、パッケージを何種類も用意したり、パッケージと商品の内容が合っているか確認したりするためのコストが価格に転嫁され、商品が値上がりしてもやむを得ない。

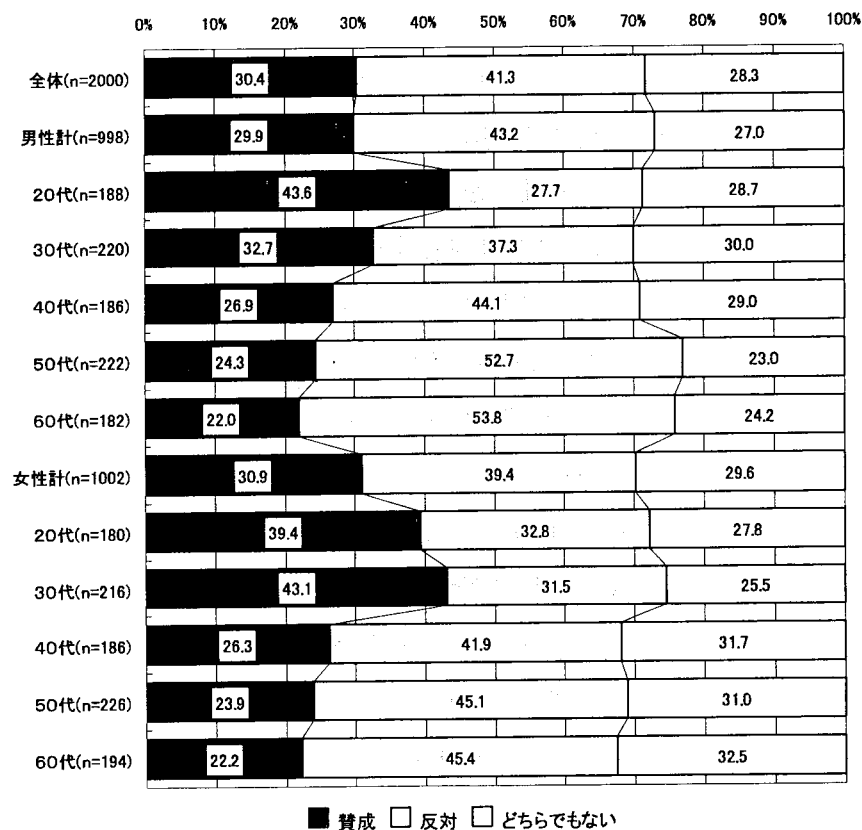


・「全ての原材料の原産地を表示すべきだが、商品の値上がりしてもやむを得ない」とする意見の賛否を捉えたが、「反対」が37%で、「賛成」の29%を上回り、価格への転嫁は困ると考える人が多かった。ただ、「どちらでもない」が34%を占め、判断がつかねる人も多いことが伺える。

・性・年代別では、男女計では大きな差はみられなかったが、20代、30代の男女で「反対」とする意見が40%を越えており、若い層での値上がりに対する拒否層が多いようだ。

②パッケージでの表示

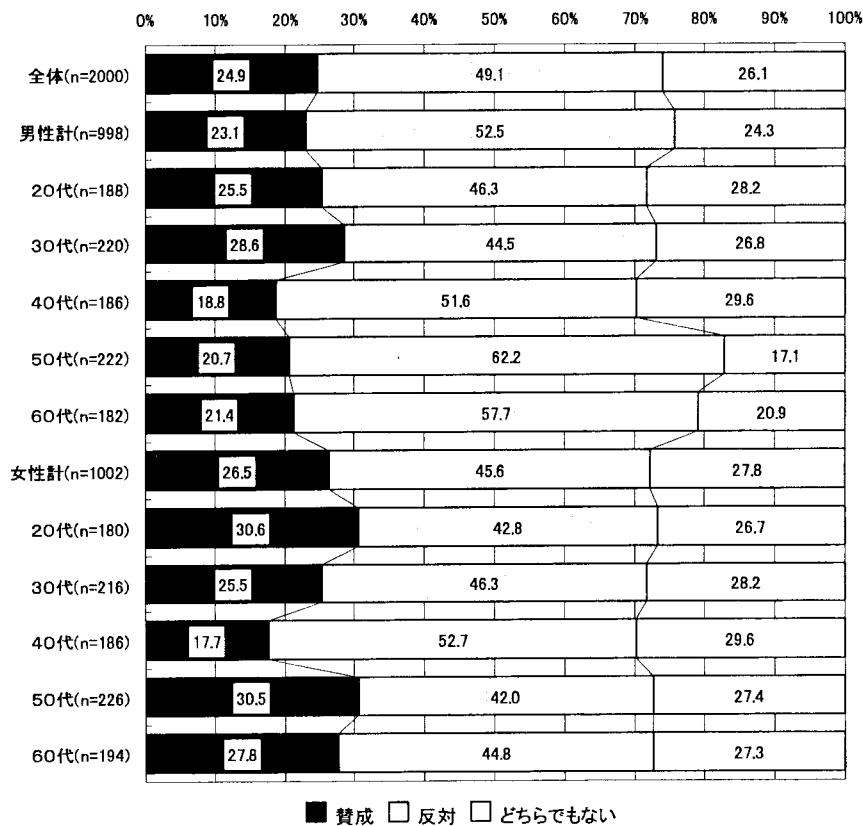
問：ホームページやお客様相談窓口で調べられれば、原材料がどこの国で作られたか、商品のパッケージに表示されていなくてもよい。



- ・「ホームページやお客様相談窓口で調べられれば、原産地をパッケージに表示されていなくてよい」とする意見には、「反対」が41%、「賛成」が30%で、反対とする人が多かった。
- ・男女による差はほとんどみられなかったが、男女とも40代以上の年齢が高い層で「反対」とする割合が高く、パッケージへの表示を望む人が多い。
- ・子供の有無では、大きな差がなかったが、子供の年代別で末子が15歳以上で「反対」が48%と多くなっているのが目立つ。

③具体的な国名表示

問：「国産」の原材料なのか、「外国産」の原材料なのかが分かれば十分。具体的な国名までは無理にパッケージに表示しなくてもよい。

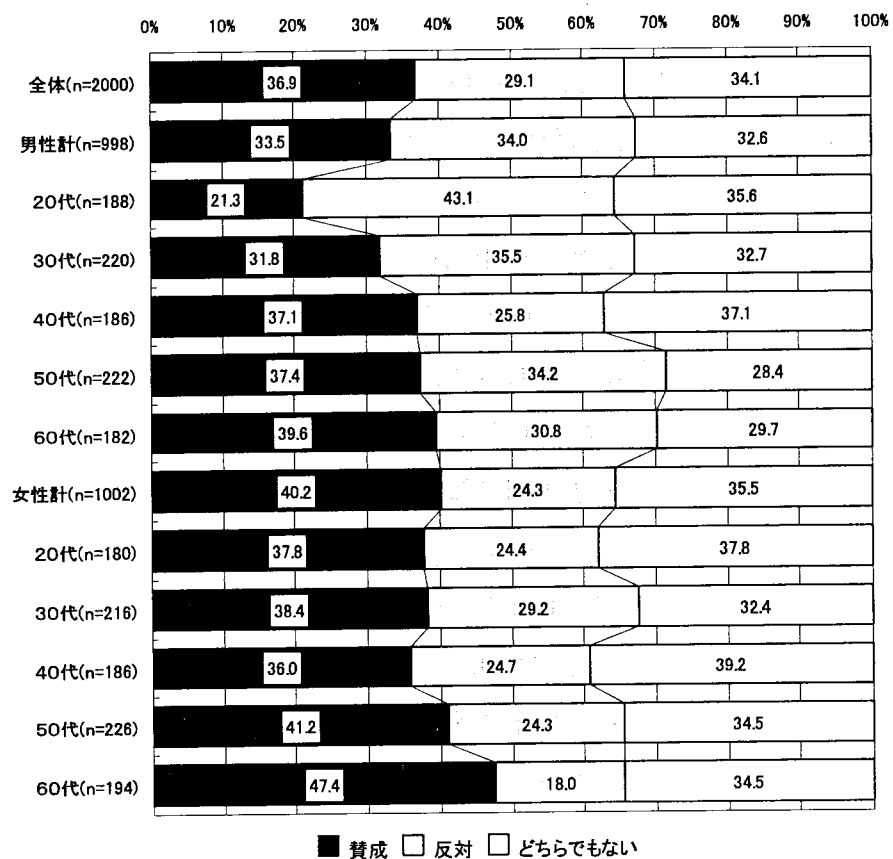


- ・「国産か外国産かが分かれば、具体的な国名までは無理にパッケージに表示しなくてもよい」とする意見には、「反対」が49%、「賛成」が25%で、ほぼ半数が反対しており、具体的な国名まで表示することを望む人が多い。
- ・男女別には、男性の53%が「反対」しており、女性の46%を上回っている。年代別では、男性の50代、60代、女性の40代で「反対」が高くなっている。
- ・子供の有無と年代では大きな差はみられなかった。

④可能性のある国の表示

問：原材料がどこの国で作られたか、可能性のある国を全て表示すればよい。

<性・年代別>

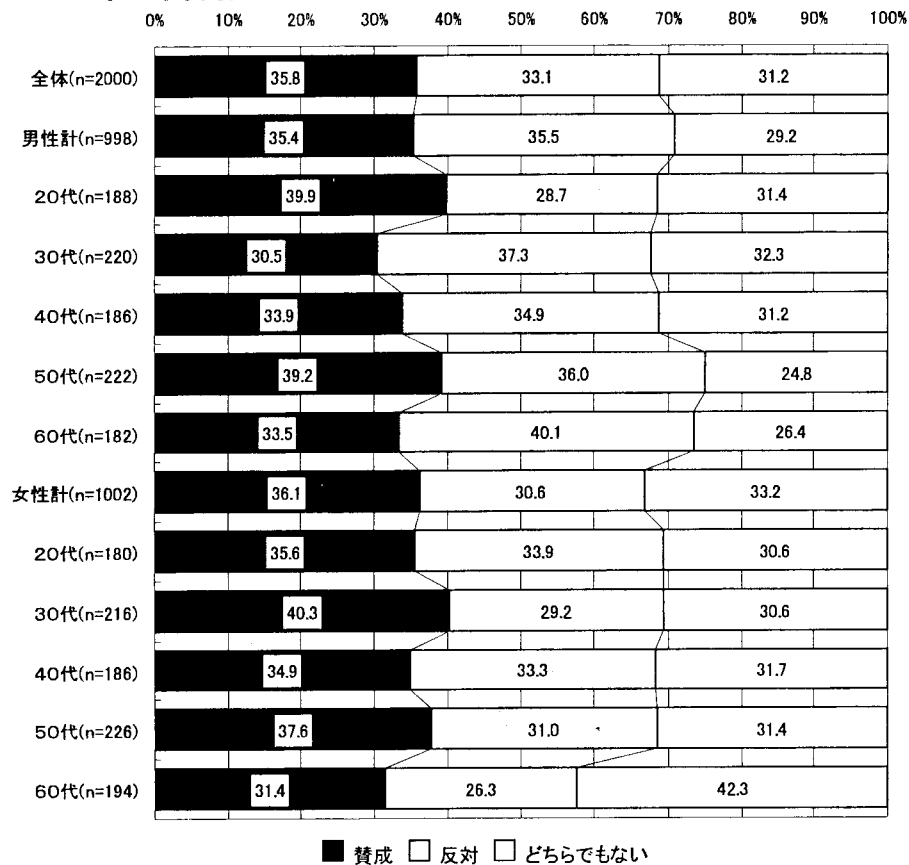


- ・「原材料がどこの国で作られたか、可能性のある国を全て表示すればよい」については、「賛成」が37%、「反対」が29%で、賛成が多くなっている。
- ・性別では、女性の方が「賛成」が40%で可能性のある全ての国の表示を望む人が多い。特に、女性の50代、60代では、「賛成」する人が多くなっている。
- ・子供の年代別で末子が15歳以上で「賛成」が40%と多くなっている。

⑤分かる国だけの表示

問：原材料のうち、どこの国で作られたかきちんと書けるものだけ表示すればよく、例えば、取引先から情報が得られない等の理由で、どうしても原産地を表示することが無理な場合は、原材料については「〇〇については、原産地を特定できません」と表示すればよい。

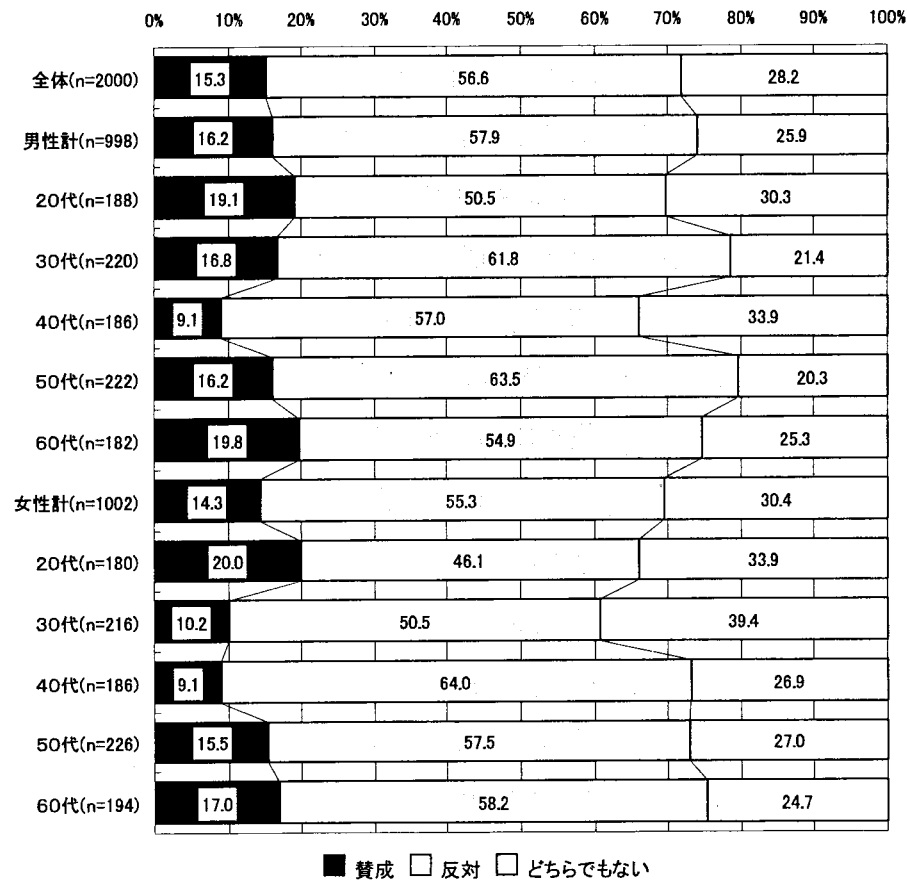
<性・年代別>



・「原産地がきちんと書けるものだけ表示して、無理な原材料はその旨を表示」については、「賛成」36%、「反対」33%、「どちらでもない」が31%で、3つの意見がほぼ拮抗した結果になった。
 ・性・年代別、子供の有無と年代別では、目立った差はみられなかった。

⑥中国産の原材料だけ表示

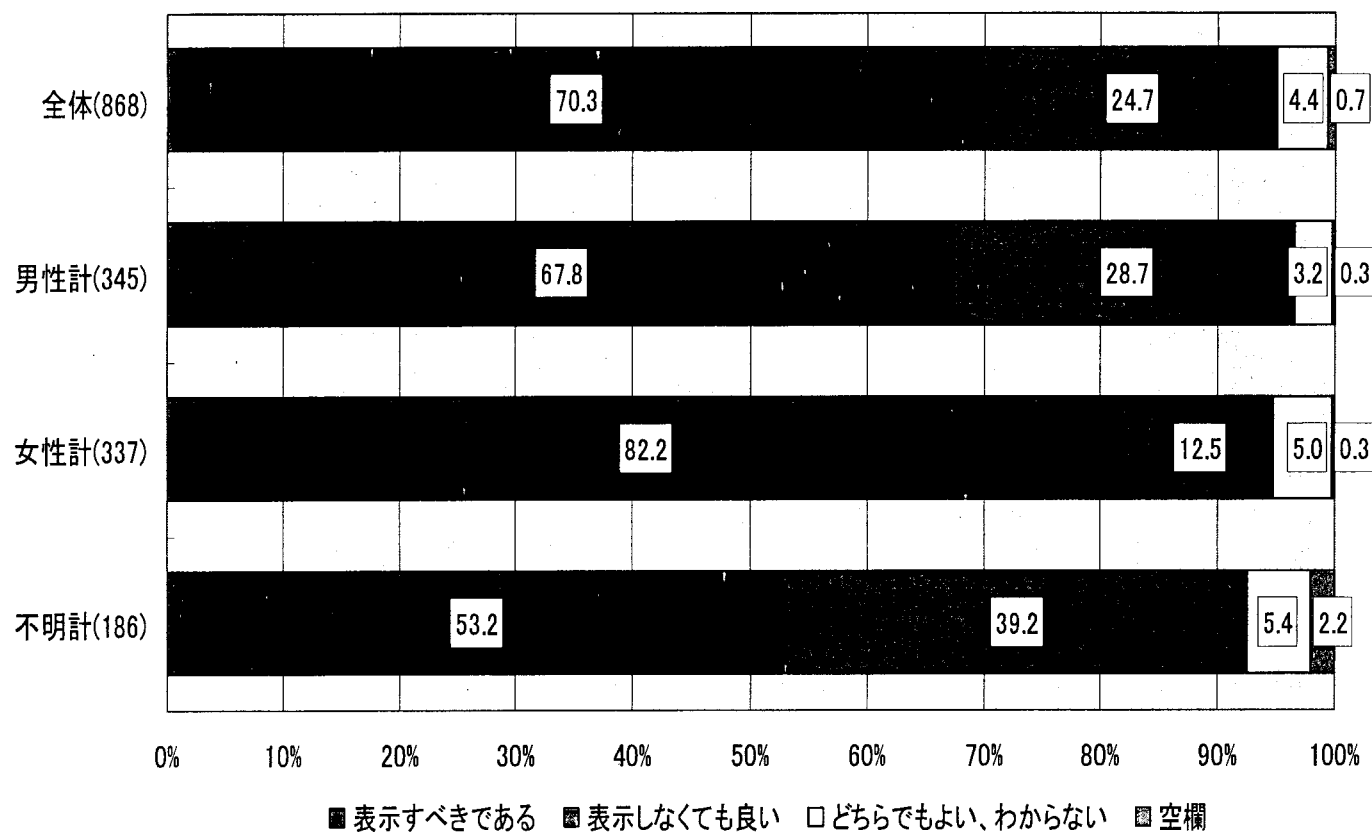
問：「中国産」の原材料であるかどうかだけパッケージに表示すればよい。



- ・「中国産の原材料であるかどうかだけパッケージに表示すればよい」については、57%が「反対」としており、「賛成」は15%であった。消費者の半数以上は、中国産だけではなく、他の原産地の表示も望んでいる。
- ・性別での差はみられなかったが、年代別では、男性の30代、50代で「反対」する人が多く、女性では40代以上で「反対」が目立つ。
- ・子供の有無では、子供を持つ人の方が「反対」する割合が多い。

(1) 原材料が作られた原産地の表示

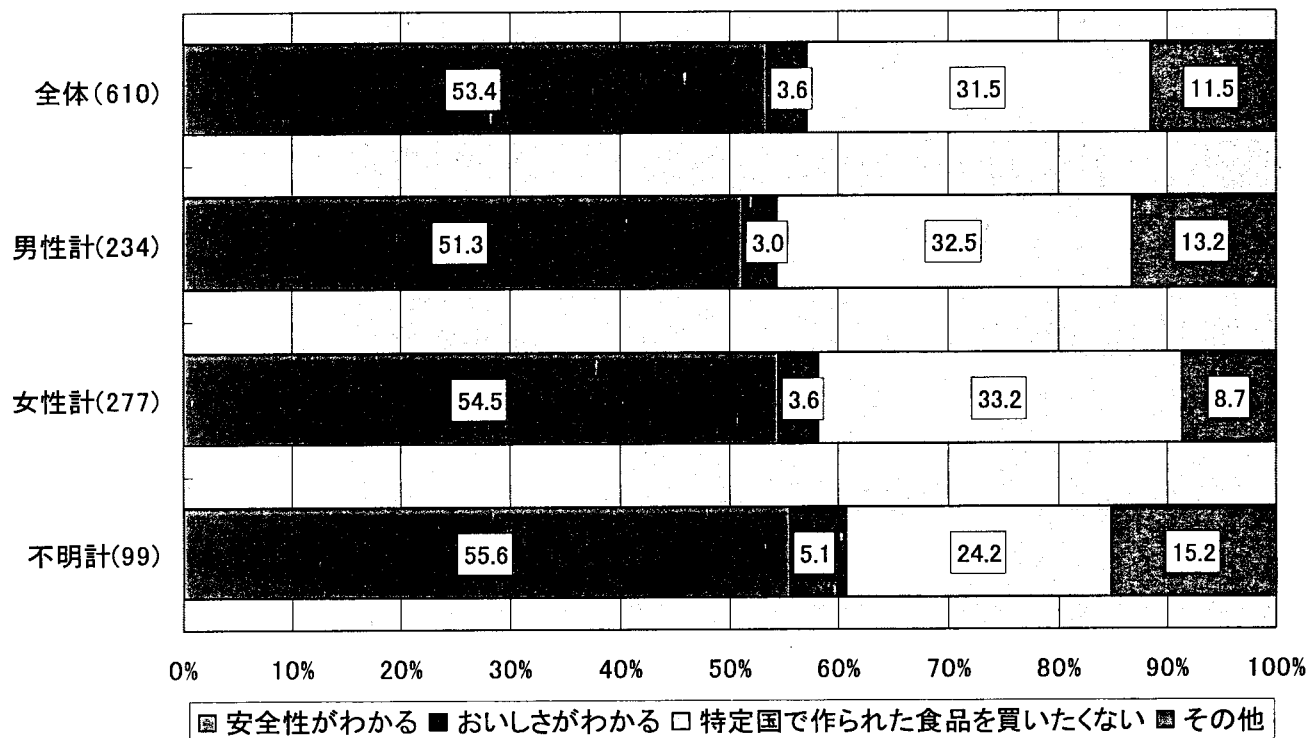
問：加工食品のパッケージには、どのような原材料が使われているかだけでなく、原材料がどの国で作られたか、その原産地も表示すべきと考えますか。



(2) 原産地を表示すべき理由

問：「表示すべきである」とお答えの方にお伺いします。なぜ表示すべきと考えますか。一番近い考え方を選んで回答してください。

- ①原材料がどこの国で作られたかを見れば、その加工食品の安全性が分かるから
- ②原材料がどこの国で作られたかを見れば、その加工食品のおいしさ（品質）が分かるから。
- ③中国など特定の国で作られた原材料を使っている加工食品を買いたくないから。
- ⑤その他

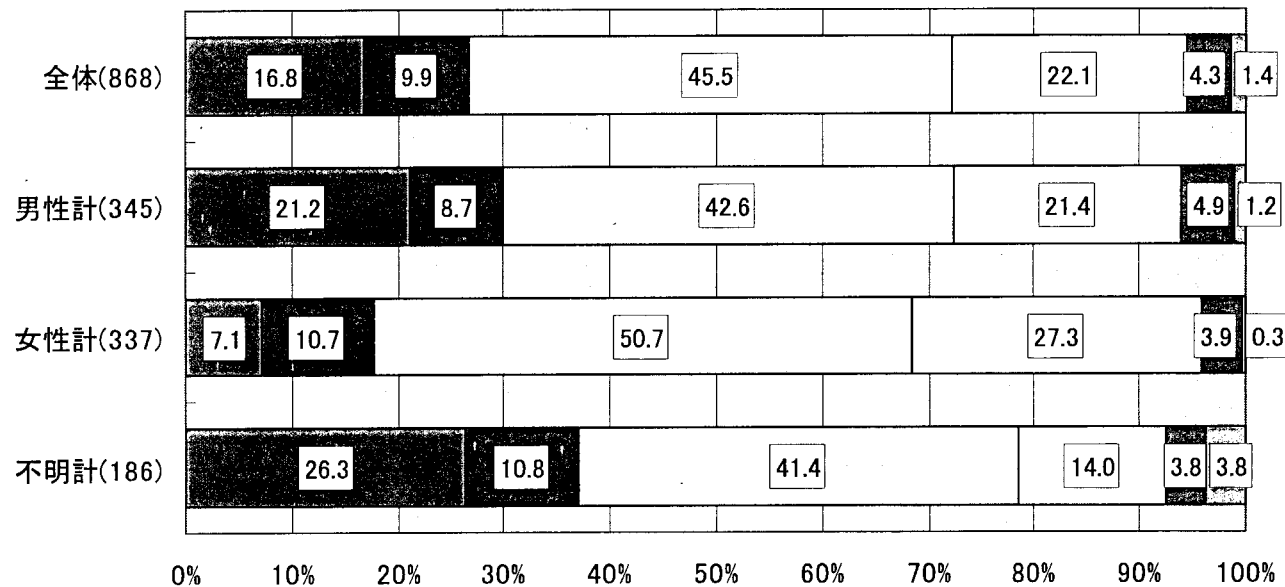


(3)原産地を表示すべき原材料

問：以下の加工食品の場合、どの原材料について原産地を表示すべきだと考えますか。

名 称 黒豚のメンチカツ
 原材料名 食肉(豚肉、鶏肉)、たまねぎ、豚脂、つなぎ(パン粉、卵白)、しょうゆ、砂糖、トマトケチャップ、食塩、香辛料、ポークエキス、衣(パン粉、小麦粉、植物油脂)、揚げ油(大豆油)、調味料(アミノ酸等)
 内 容 量 160g
 賞味期限 200X年XX月XX日
 保存方法 -18℃以下で保存してください。
 製 造 者 株式会社〇〇 東京都千代田区△△

(設問)
 ①原材料の原産地は特に表示しなくても良い。
 ②「豚肉(黒豚)」の原産地だけ表示すればよい。
 ③主な原材料(豚肉、鶏肉、たまねぎなど)の原産地は表示すべき。
 ④主な原材料だけでなく、調味料(しょうゆ、砂糖、トマトケチャップなど)、衣(パン粉、小麦粉など)も含めて原産地を表示すべき。
 ⑤その他

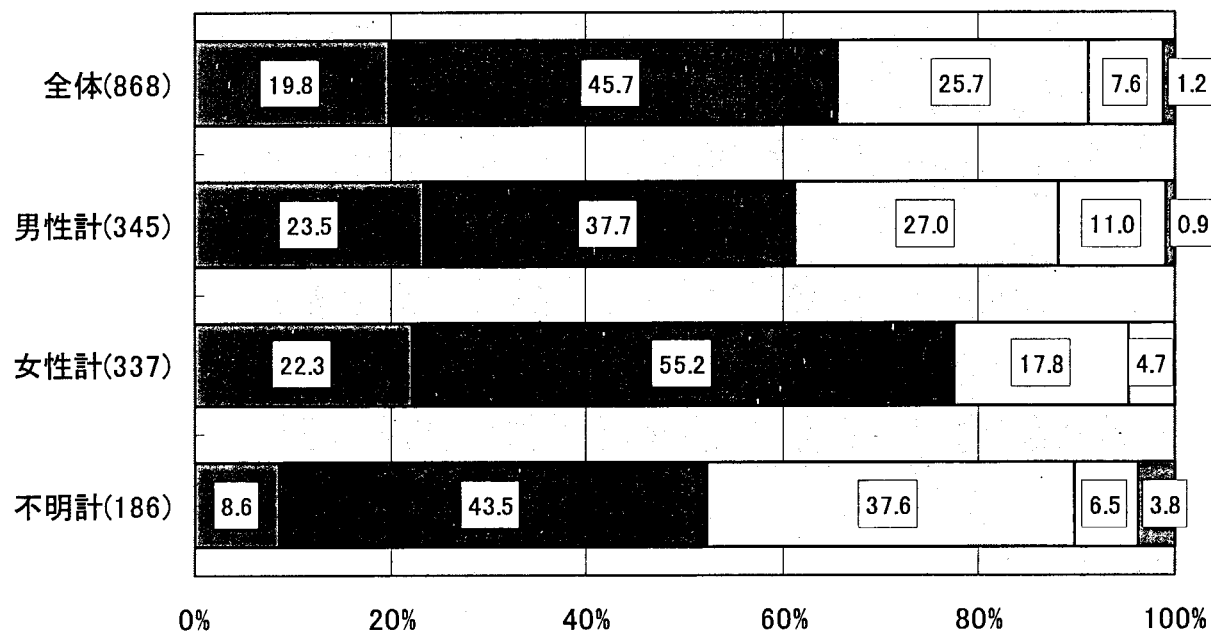


■ ①表示しなくてよい ■ ②豚肉 □ ③主な原材料 □ ④主な原材料、調味料 ■ ⑤その他 □ 空欄

(4) 値上がりへの反映及びパッケージでの表示について

問：特定の商品の原材料がどこの国で作られたものか、全て正確にパッケージに表示するのは難しい面があります。仮に表示できたとしても、表示欄が大きくなって見にくくなることが考えられますが、加工食品の原材料の表示について、一番近い考え方を選んで回答してください。

- ①全ての原材料がどの国で作られたものか表示すべきである。そのために、パッケージを何種類も用意したり、パッケージと商品の内容が合っている確認したりするためのコストが価格に転嫁されて商品が値上がりしたり、表示欄が大きくなって見にくくなったりしても、やむを得ない。
- ②全て正確に表示することによって商品が値上がりしたり、表示が見にくくなることは反対である。現在の表示を工夫し、商品の価値が上がったり、表示が見にくならない範囲で、提供できる情報を、可能な方法で提供すればよい。
- ③パッケージには必要最小限の内容だけ表示し、原料原産地についての詳しい情報は、食品会社のホームページやお客様相談窓口で提供すればよい。
- ④その他

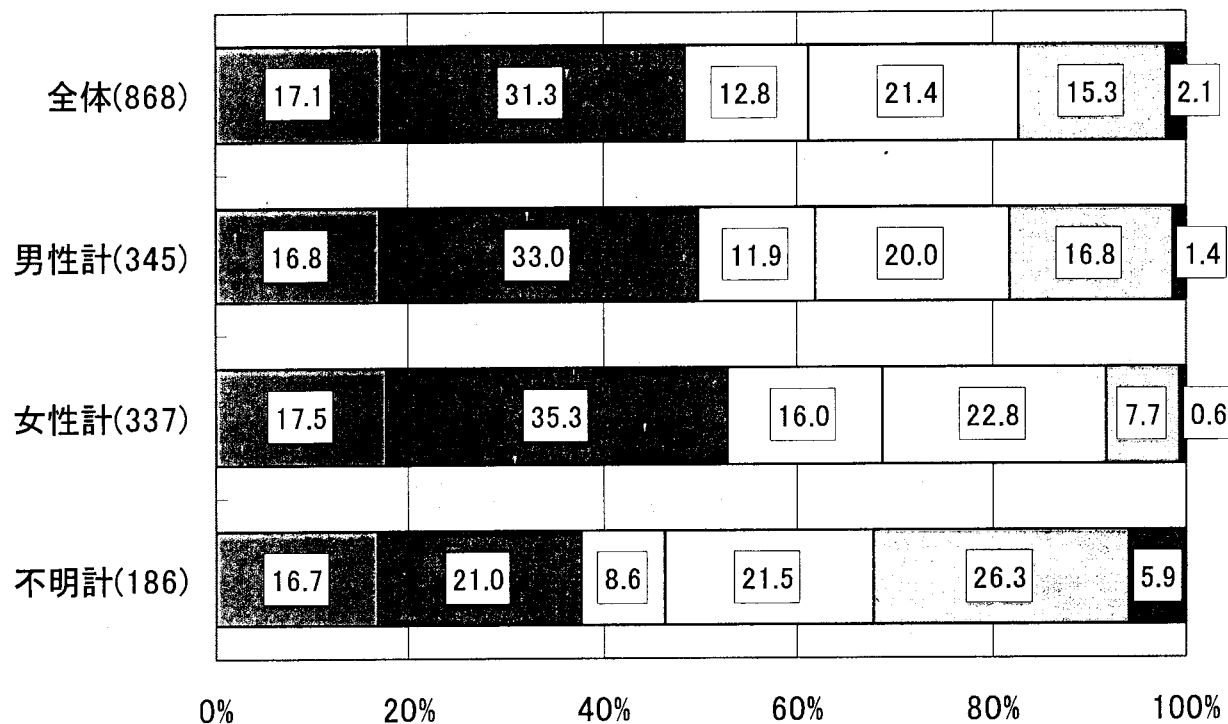


■ ①表示すべき ■ ②反対、可能な方法で表示 □ ③HP、窓口等で情報提供 □ ④その他 ■ ⑤空欄

(4) 国名の表示について

問：加工食品の原料原産地について、「1つ1つの原材料の原産地まで表示することが難しければ、『国産』か『外国産』だけ表示すればよい」という意見があります。このような意見についてどう考えますか。一番近い考え方を選んで回答してください。

- ①原材料が「国産」なのか「外国産」なのか分かれば十分なので、賛成である。
- ②中国など特定の国で生産された原材料が使われているかどうかを知りたいので、「外国産」では不十分であり、反対である。
- ③具体的な国が特定できなくても、原材料がどこの国で作られたか、可能性のある国を全て表示すればよい。
- ④原材料のうち、どこの国で作られたかきちんと書けるものだけ表示すればよい。取引先から情報が得られない等の理由で、どうしても原産地を表示することが無理な場合は、「〇〇については、原産地を特定できません」と表示すればよい。
- ⑤その他



□ ①賛成 ■ ②不十分、反対 □ ③可能性のある国を全て表示 □ ④特定できるものだけ表示 □ ⑤その他 ■ 空欄